

第1章 計画策定にあたって

1 計画策定の目的

本市の基幹産業である観光業は、景気の低迷や国内外との競合による影響など、多くの複合的な要因により低迷しており、このような経済状況は観光関連産業にとどまらず、負の連鎖として他の産業へ波及していくことが懸念されています。

また、南海トラフの巨大地震による津波高などが公表されたことに伴い、来遊者に対する安全対策や全市的な防災対策を早急に講ずることが求められています。

このような背景を踏まえ、今後の観光のあり方の基本的な方向を示し、第4次下田市総合計画の将来都市像である「自然と歴史を活かし、やすらぎと活力のある美しいまち」を実現するための指針として、下田市観光まちづくり推進計画（以下「本計画」という。）を策定します。

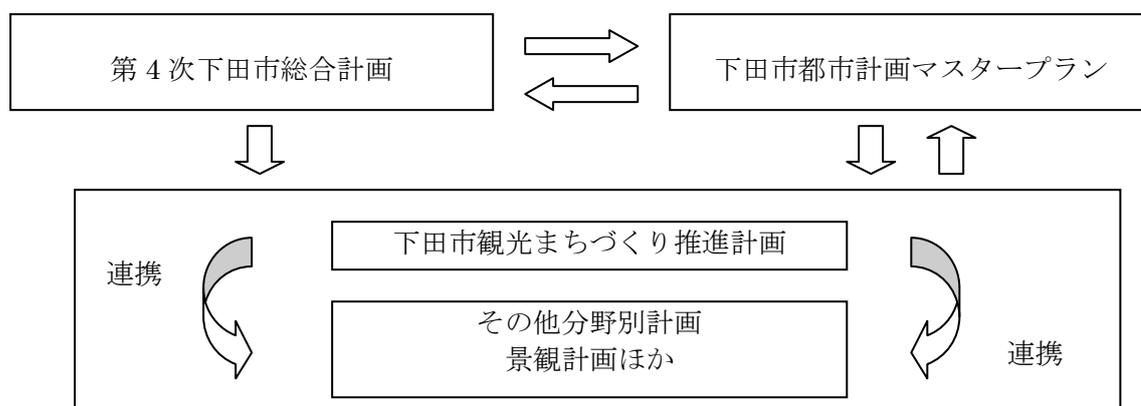
2 計画の期間

本計画の期間は、平成25年度から平成32年度までの8年間としますが、社会・経済・自然環境の変化などにより、見直しが必要になった場合は、下田市総合計画などと整合を図って見直すものとします。

なお、アクションプランに掲げたプロジェクト事業は、平成27年度に必要な応じ、見直すものとします。

3 計画の位置づけ

本計画は、第4次下田市総合計画の分野別計画として位置づけられ、本市の観光の新たなあり方の具体的な行動の指針とします。



また、本計画を推進するためには、行政のみでなくすべての市民や事業者、市民活動団体などとの協働が必要不可欠です。市民とともに歩むべき計画内容とし、市民や事業者、市民活動団体、行政が共有する計画とします。

4 目標値とする指標

第4次下田市総合計画の基本計画で明示された指標を目標値とし、達成状況を測定することとします。

数値系指標		総合計画現況値 (平成21年度)	目標値	
			平成27年度	平成32年度
観光交流客数	観光レクリエーション客数	2,077,177人	2,100,000人	2,200,000人
	観光宿泊客数	866,118人	900,000人	1,000,000人
外国人宿泊客数		2,692人	6,400人	12,200人
有効求人倍率		0.89	0.98	1.08
耕作放棄地調査による耕作放棄地面積		33.6ha	27.3ha	21.0ha
水揚高	数量	3,554 t	3,590 t	3,626 t
	金額	3,221,728千円	3,253,945千円	3,286,484千円
津波警告・避難誘導標識の充足率（設置数/目標数）		90%	100%	100%

意識系指標（市民満足度）	総合計画現況値 (平成21年度)	目標値	
		平成27年度	平成32年度
観光業の振興に満足している市民の割合	22%	36%	50%
産業間の相互の連携に満足している市民の割合	14%	32%	50%
商工業の振興に満足している市民の割合	14%	32%	50%
働きやすい環境の整備に満足している市民の割合	7%	29%	50%
農林水産業の振興に満足している市民の割合	28%	39%	50%
災害に強いまちづくりに満足している市民の割合	27%	38%	50%

注) 現況値は、第4次下田市総合計画の数値を記載しています。

5 計画の構成

本計画の構成は、以下のとおりとします。

<p>第1章 計画策定にあたって</p> <p>本計画策定の目的、計画期間、位置づけなどを示します。</p>
<p>第2章 産業の現状と課題</p> <p>本市の産業の現状を把握し、観光まちづくりを推進するための課題を明示します。</p>
<p>第3章 基本理念と計画の目指すところ</p> <p>分析結果を踏まえて、観光まちづくりの基本理念、目標、基本方針を示します。</p>
<p>第4章 アクションプラン</p> <p>観光まちづくりの目標・基本方針を踏まえて、アクションプランなどを提示します。</p>